Les Vignerons d'Estezargues
エステザルグ協同組合

地域：Rhône

地区、村：Estezargues エステザルグ村

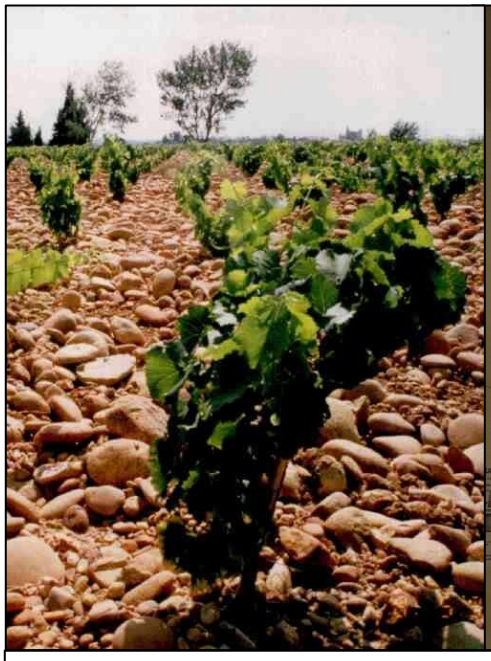
造り手： Denis DESCHAMPS ドゥニ・ドゥシャン

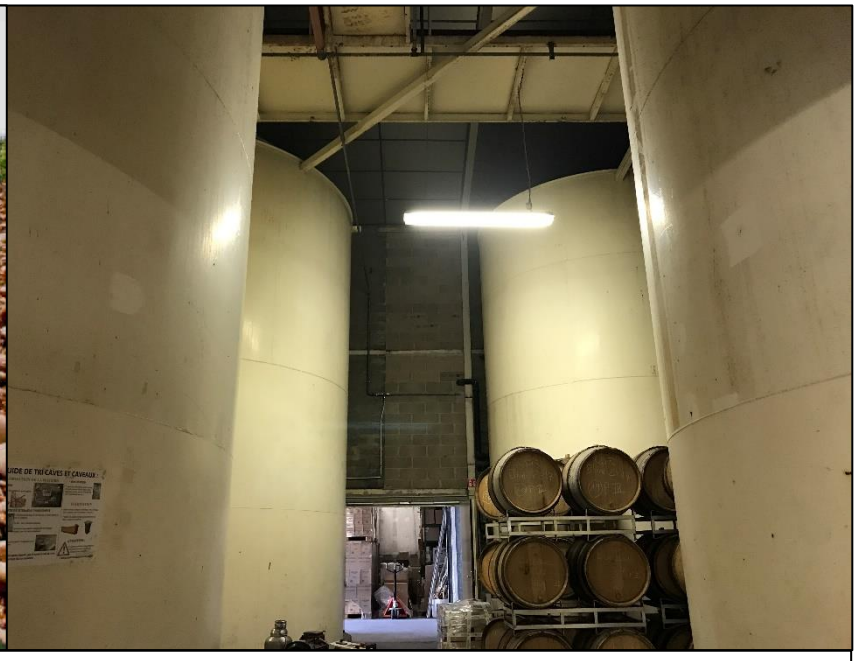
創業年：1964 年

ワイナリーについて：

「フランス最小の協同組合」「ジャン・フランソワ・ニック（現フラール・ルージュ）が醸造長を務めた」などの修飾語で語られることが多い、エステザルグ協同組合。全くの日常的な価格にもかかわらず目覚ましく純度の高い味わいは、1980 年代と 90 年代のヴァン・ナチュールの黎明期に多くの人の心をつかみ、現在でもパリやフランス全土で広く親しまれています。現在の醸造長、ドゥニ・ドゥシャンは 2000 年代に、エステザルグ協同組合の醸造長となり、以来、総栽培面積 550ha 以上、平均年産 160 万本という量を、毎年安定して生産していて、畏敬を集めています。それどころか、気候が変動により毎年のように降雨量や猛暑日の記録が塗り替えられていく中、毎年のように、目覚ましく純度の高い味わいのワインを造り出しています。

フランス最小の協同組合といえども、醸造長のドゥニはワイン造り全体の手配を含めたマネージメントに多忙で、多量の事務仕事を抱えながらのワイン造りで、年間 1 万数千本の生産量のヴィニュロンのワイン造りとは、出来ることと出来ないことはきっと違うのでしょう。以前はブドウの栽培農家によって、リュット・レゾネとビオロジック認証を取っている生産者がいましたが、2019 年には組合でも最後の栽培農家がビオロジック栽培へと転換し、2021 年 VT からすべての栽培農家がビオ認証を取得します。そのため、複数の農家から供されたブドウをもとにしたブレンドワイン、〈キュヴェ・デ・ガレ〉や〈プレン・シュッド〉も 100%ビオロジック栽培のブドウとなります。





左：古い写真ですが、小石（ガレ：Galet）の多く転がる、一帯の典型的な畑の様子。

右：巨大なタンク。ボトル何本分だろうか。実際は、中は 3 層に分かれていて、それぞれの層のワインを循環させることで温度管理をしたりもできるらしい。

◆2021 年 6 月追記

ドゥニも 2019 年 VT を最後に、エステザルグ協同組合を去り、2020 年 VT からはアルメル・ルーオーが醸造責任者として就任しました。同地域のワイナリーで 6 年間セラーマスターとして働き、2020 年の 6 月から正式に醸造責任者となりました。ドゥニも引き継ぎや醸造補助のために 2021 年 1 月までは、セラーに出入りをしていたようですが、味わいからはやはり醸造家は変わったのだな、という印象です。

組合に参加するすべての栽培家たちのブドウをビオロジック栽培へと転換するという、ドゥニの時代からの念願もかない、2021 年 VT からはビオ認証も取得します。新体制となったエステザルグ協同組合、これからの彼女たちの活躍に期待です。